

入門マクロ経済学Ⅰ

科目ナンバリング ECT-103
選択 2単位

田中 賢治

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、マクロ経済学を初めて学ぶ学生を対象に、初級レベルのマクロ経済学を解説します。マクロ経済学は、GDP、物価、雇用といった一国の経済全体(マクロ経済)の動きを決めるメカニズムを分析する学問です。すなわち、現実の経済現象を理解し、経済問題を解決するための政策判断に不可欠な学問と言えます。日々、経済に関するニュースが新聞紙上にをぎわしていますが、マクロ経済学を修得することによって、これらの情報を自分なりに考え理解できるようになることは、社会人になってから大いに役立ちます。本講義では、マクロ経済学の基本的な枠組みを紹介するとともに、現実のデータや最近のマクロ経済に関する報道を参照しながら、マクロ経済学を使って現実経済を分析する力を養います。

2. 授業の到達目標

- (1) GDPやCPIなどのマクロ統計データの意味を理解し、正確に読み取る力を身につける。
- (2) マクロ経済学の基礎を体系的に修得する。
- (3) 日々新聞をにぎわすマクロ経済にかかわるニュースを理解し、説明できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内小テスト(不定期)40%と期末試験60%で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

平口良司・稲葉大 『マクロ経済学―入門の「一歩前」から応用まで(新版)』 有斐閣ストウディア, 2020年

参考文献

グレゴリー・マンキュー 『マンキュー経済学Ⅱマクロ編(第4版)』 東洋経済新報社, 2019年

福田慎一・照山博司 『マクロ経済学・入門(第5版)』 有斐閣, 2016年

5. 準備学修の内容

- (1) 講義は基本的に教科書に対応した形で進めます。受講前に対象箇所を熟読し、問題意識をもって受講すること。
- (2) 教科書を何度も読み返すことで理解が深まります。受講後にも、教科書を繰り返し読むことで理解度を高めること。

6. その他履修上の注意事項

- (1) 入門マクロ経済学を体系的に理解するためには、「入門マクロ経済学Ⅰ」とあわせて「入門マクロ経済学Ⅱ」の履修が必要です。連続履修を推奨します。
- (2) マクロ経済学は現実経済を分析するためのツールです。毎日、新聞の経済記事に目を通し、現実経済への感度を磨くこと。
- (3) 講義中の私語などの迷惑行為は厳禁です。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(オンライン授業)
授業案内、マクロ経済学とは何かについて学びます
- 【第2回】 GDPとは何か(1)
GDPの意味と三面等価について学びます
- 【第3回】 GDPとは何か(2)
GDPの範囲、名目と実質について学びます
- 【第4回】 消費者物価と労働統計
CPI, GDPデフレーター、失業率などについて学びます
- 【第5回】 景気の見方
景気とは何か、景気判断のためのさまざまな統計について学びます
- 【第6回】 日本経済の現状(オンライン授業)
統計データを通じて最近の日本経済について学びます
- 【第7回】 マクロ経済を支える金融市場(1)
金融市場の役割について学びます
- 【第8回】 マクロ経済を支える金融市場(2)
金利(利子率)について学びます
- 【第9回】 貨幣の機能と中央銀行の役割(1)
貨幣の機能と信用創造について学びます
- 【第10回】 貨幣の機能と中央銀行の役割(2)
標準的な金融政策について学びます
- 【第11回】 財政の仕組みと機能(1)
政府予算の仕組みと財政の役割について学びます
- 【第12回】 財政の仕組みと機能(2)
国債の役割と累積債務問題について学びます
- 【第13回】 GDPと金利の決まり方(1)
乗数理論について学びます
- 【第14回】 GDPと金利の決まり方(2)
IS-LMモデルについて学びます
- 【第15回】 授業のまとめと総復習